eastspring investments

交付運用報告書

イーストスプリング・フィリピン株式オープン

追加型投信／海外／株式

作成対象期間 2023年９月８日～2024年３月７日

第23期 2024年３月７日決算

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主にフィリピンの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜わりますよう、お願い申し上げます。

日経新聞掲載名：フィリピン株

第23期末（2024年３月７日）	
基準価額	9,883円
純資産総額	1,296百万円
第23期	
騰落率	11.1%
分配金（税込み）合計	0円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
〒100-6905
東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング
https://www.eastspring.co.jp/
〔お問い合わせ先〕
電話番号：03-5224-3400
（受付時間は営業日の午前９時から午後５時まで）

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書（全体版）」を選択

運用経過

基準価額等の推移について

(2023年9月8日～2024年3月7日)

期　首：8,896円
期　末：9,883円（既払分配金(税込み)：0円）
騰落率：　11.1%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2023年９月７日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
(注) 上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)
・保有株式が上昇したこと。
・通貨ペソが対円で上昇したこと。

1万口当たりの費用明細

(2023年9月8日～2024年3月7日)

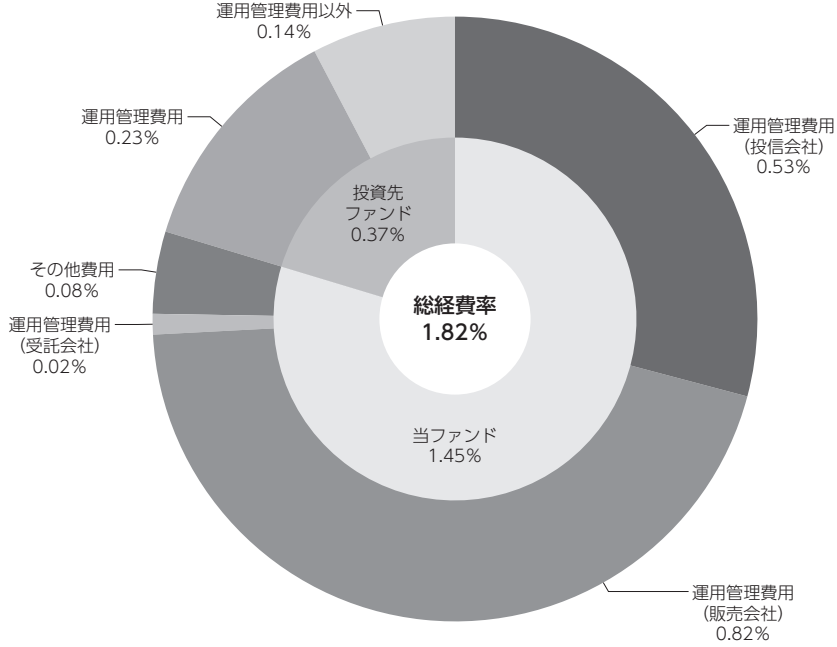
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	63	0.684	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(24)	(0.263)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(38)	(0.410)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	4	0.040	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(4)	(0.040)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	金銭信託に係る手数料等
合計	67	0.724	
期中の平均基準価額は、9,219円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

（参考情報）

◯総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82％です。



（単位：％）

総経費率（①＋②＋③）	**1.82**
①当ファンドの費用の比率	1.45
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14

（注）①の費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。
（注）①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移について

(2019年3月7日～2024年3月7日)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 分配金再投資基準価額は、2019年３月７日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年３月７日 決算日	2020年３月９日 決算日	2021年３月８日 決算日	2022年３月７日 決算日	2023年３月７日 決算日	2024年３月７日 決算日
基準価額　(円)	9,085	7,331	8,359	8,840	8,948	9,883
期間分配金合計(税込み)　(円)	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率　(%)	－	△ 19.3	14.0	5.8	1.2	10.4
純資産総額　(百万円)	2,312	1,688	1,556	1,178	1,229	1,296

(注) 上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
(注) 騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

フィリピン株式市場

当期のフィリピン株式市場は上昇しました。期初から2023年９月末にかけては、８月のインフレ指標が予想を上回ったものの、フィリピン中央銀行が政策金利を据え置いたことなどを好感し、株式市場は上昇しました。しかし、10月には中国経済の低迷、中東情勢の緊迫化に加え、９月のインフレ指標が予想を上回ったことなどを受け、中央銀行が政策金利を引き上げたことなどを嫌気し、株式市場は下落しました。その後期末にかけてインフレ指標の落ち着きから中央銀行が金利を据え置いたことや米国の金融引き締め政策が転換されるとの見通しが強まる中、投資家の買い意欲が高まり、フィリピン株式市場は上昇基調をたどりました。

為替市場

フィリピンペソは、期初から2023年10月末にかけては、米ドルに対し横ばいで推移していましたが、11月以降年末にかけては米国長期金利が低下する中、上昇しました。その後期末にかけては、米国長期金利の動きにフィリピンペソも連動し、対米ドルで55～56フィリピンペソ台で推移しました。円は期中、概ね日米の長期金利差の動きに連動して推移し、通期ではフィリピンペソは円に対して上昇しました。

国内債券市場

国内債券市場は、米国長期金利が上昇する中、10年国債利回りは上昇し、2023年11月初めには0.95%を付けました。しかし、その後米国長期金利が低下したことから年末にかけて日本の10年国債利回りも低下し、0.5%台を付けました。しかし、2024年年明け以降は、米国長期金利の上昇につれて再び10年国債利回りは上昇し、0.7%台で終わりました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・フィリピン・エクイティ・ファンド クラスＪ（以下「フィリピン・エクイティ」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

フィリピン・エクイティ

フィリピン株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。当期はコロナ禍後の貿易量の増加や設備投資の拡大などから収益が好調な伸びを示していることなどから株価が上昇した港湾運営企業（INTL CONTAINER TERMINAL SERVICES, INC.）などの保有がプラス要因となる一方、販管費の大幅な増加によりホテルビジネスの収益率が低下していることなどを嫌気され株価が下落した複合企業（ALLIANCE GLOBAL GROUP, INC.）などの保有がマイナス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（１－10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第23期 2023年９月８日～ 2024年３月７日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,947

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるフィリピン・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

フィリピン・エクイティ

フィリピンのインフレ率は、2024年１月には2023年12月から大幅に低下（－1.1％）し前年比＋2.8％となり、２ヵ月連続でフィリピン中央銀行のインフレターゲットである２～４％のレンジ内に収まっています。米国の金融政策の動向にもよりますが、市場関係者の間では今年度中に中央銀行が利下げを行う可能性があるだろうとの見方が支配的になってきています。

フィリピン株式市場は、①インフラプロジェクトの進展、②米国における金融政策の転換によるフィリピン中央銀行の金融政策への影響、③国内インフレの安定、④フィリピンペソの安定などが契機となり、株式市場の再評価が期待されます。

セクター別では、堅調なファンダメンタルズにも関わらず割安な消費関連、安定したキャッシュ創出力と設備投資の抑制による高配当利回りである通信関連、また高金利がしばらく続くことが想定されることから銀行セクターなどを強気に見ています。一方、資本財サービス・セクターおよび不動産株などについては弱気に見ています。今後とも投資環境の変化に対する市場の反応などに留意しつつ、下落局面では割安となったファンダメンタルズの強固な優良銘柄に選別投資を行います。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）
　今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（１－10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

お知らせ

　2023年12月７日付で約款変更を行い、投資対象ファンドにおけるデリバティブの使用目的を、投資の対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的ならびに価格変動リスクおよび為替相場の変動リスクを減じる目的に限定することを明確化しました。なお、かかる変更は、運用の実態に即した記載内容に変更するものであり、実際の運用の基本方針、運用体制等につきましては、一切変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2012年９月28日設定）
運用方針	主にフィリピンの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスＪ」の投資証券（米ドル建て）およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年３月７日および９月７日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準および市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

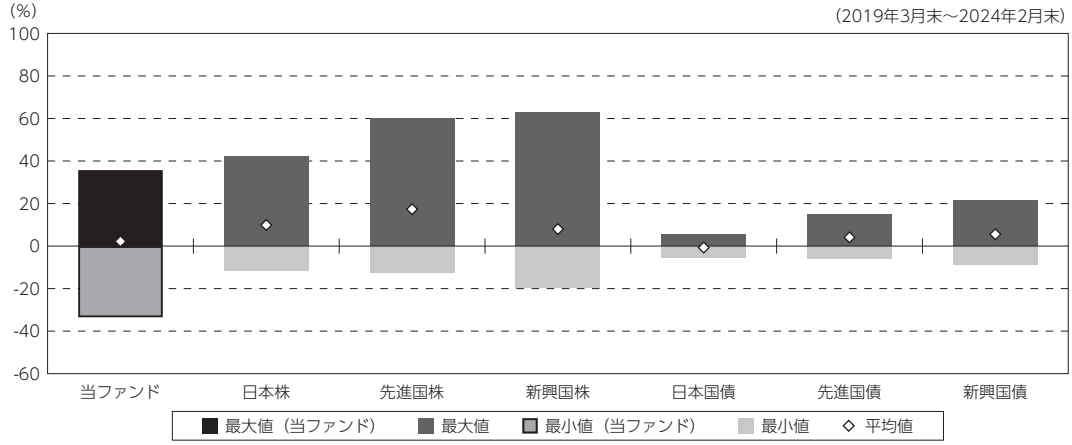
指数に関して

当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）」のベンチマーク（ICE BofA 国債インデックス（１－10年債））について

ICEの指数データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社（以下「ICE Data」）及び／またはその第三者サプライヤーの財産です。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	35.7	42.1	59.8	62.7	5.4	14.8	21.5
最小値	△ 33.5	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	2.2	9.9	17.3	8.0	△ 0.7	4.1	5.6

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2019年３月から2024年２月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日 本 株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株：MSCI － KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA － BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

ファンドデータ

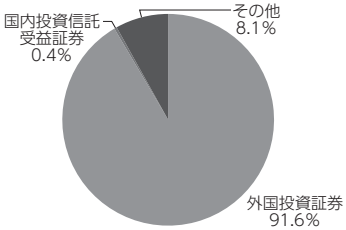
当ファンドの組入資産の内容

○組入上位ファンド

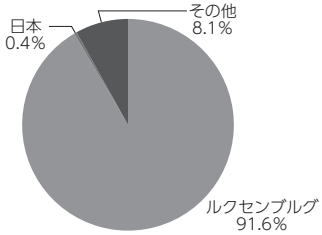
銘　　柄　　名	第23期末
	%
イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ	91.6
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型Ⅰ(適格機関投資家向け)	0.4
組入銘柄数	2銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

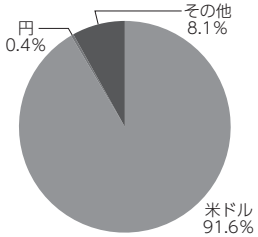
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

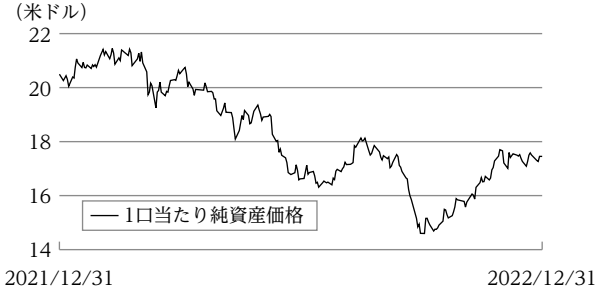
項　　目	第23期末
	2024年３月７日
純資産総額	1,296,254,856円
受益権総口数	1,311,661,086口
１万口当たり基準価額	9,883円

(注) 当期中における追加設定元本額は114,351,278円、同解約元本額は213,813,758円です。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスＪ>

基準価額（１口当たり純資産価格）の推移



１万口当たりの費用明細

（2022年１月１日～2022年12月31日）

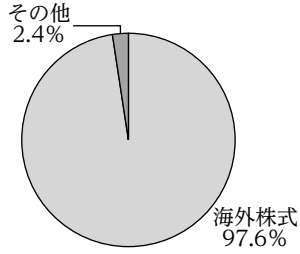
当該期間のAnnual Report（監査済み）には、１万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンドの内容です。

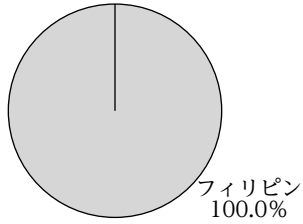
組入上位10銘柄（組入銘柄数：31銘柄）　（2022年12月31日現在）

銘柄名	業種	国･地域	比率
ＳＭプライム	不動産	フィリピン	9.6%
ＳＭインベストメンツ	資本財	フィリピン	9.4%
バンコ・デ・オロ・ユニバンク	銀行	フィリピン	7.5%
フィリピン・アイランズ銀行	銀行	フィリピン	7.0%
アヤラ・ランド	不動産	フィリピン	6.5%
アヤラ	資本財	フィリピン	4.9%
インターナショナル・コンテナ・ターミナル・サービス	運輸	フィリピン	4.8%
ユニバーサルロビナ	食品･飲料･タバコ	フィリピン	4.5%
JG サミットホールディングス	資本財	フィリピン	4.4%
メトロポリタン銀行	銀行	フィリピン	4.3%

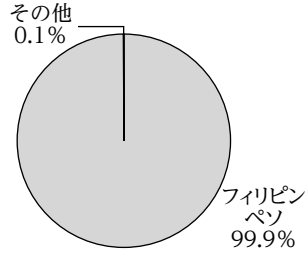
資産別配分



国別配分



通貨別配分



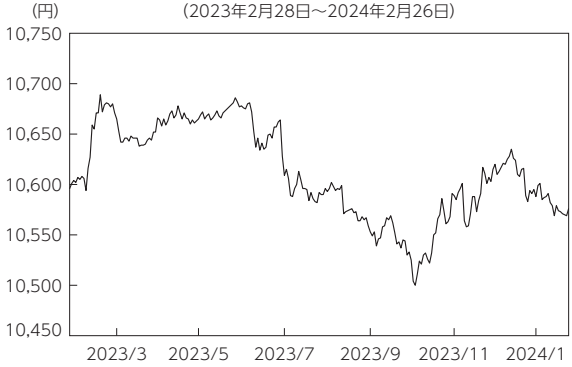
（注１）組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの（監査済みおよび同時点の関連データを含む）を使用しています。

（注２）組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）

【基準価額の推移】



【１万口当たりの費用明細】

(2023年２月28日～2024年２月26日)

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 信託報酬	23	0.219
（投信会社）	(15)	(0.143)
（販売会社）	(2)	(0.022)
（受託会社）	(6)	(0.055)
(b) その他費用	2	0.014
（監査費用）	(2)	(0.014)
（その他）	(0)	(0.000)
合計	25	0.233
期中の平均基準価額は、10,610円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

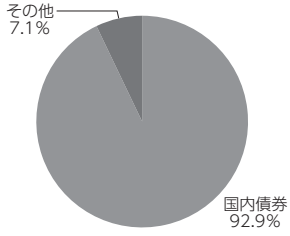
【組入上位10銘柄】

(2024年２月26日現在)

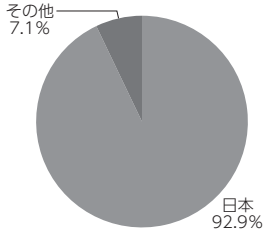
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	第359回利付国債(10年)	国債	円	日本	23.9
2	第91回利付国債(20年)	国債	円	日本	19.8
3	第117回利付国債(20年)	国債	円	日本	11.9
4	第354回利付国債(10年)	国債	円	日本	8.1
5	第87回利付国債(20年)	国債	円	日本	8.0
6	第351回利付国債(10年)	国債	円	日本	6.9
7	第67回利付国債(20年)	国債	円	日本	6.2
8	第80回利付国債(20年)	国債	円	日本	5.4
9	第75回利付国債(20年)	国債	円	日本	2.8
10	－	－	－	－	－
組入銘柄数		９銘柄			

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) 国（地域）につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

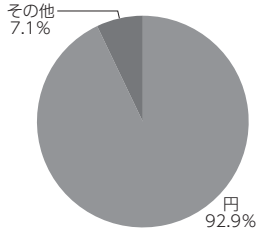
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA-BPI国債
NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）
JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。